

山 志向



【地区のシンボル】

こぶしの花

【花言葉】

友情・友愛

山形市立第七中学校
学校だより
2024. 6 月

『志向』の精神をしっかりと受け継ぐ 山形七中は創立66周年を迎えました

6月3日（月）、本校の第66回創立記念式を挙行了しました。入学式同様、市議会議員の皆さまと学校運営協議会委員の皆さまをご来賓にお招きして、全校生徒と教職員が体育館に集まり、輝かしい山形七中の伝統に思いを馳せました。

【ご来賓 青木 琢爾 様 からご祝辞をいただきました】

山形市立第七中学校第66回創立記念式を迎えられ、おめでとうございます。今日の日を迎えられましたことは、ご臨席の方々をはじめ、地域の方々、校長先生や学校関係者等、多くのお力添えの賜物であると、同窓生12,478名を代表し、御礼を申し上げます。

さて、創立を語るに際し、前同窓会長の三部さんが皆さんに伝えてくださった「おめでとう」を理解し、本題に入りたいと思います。

昭和29年10月、今から70年前に大郷村・明治村・出羽村が山形市に編入され、七中として昭和34年、大郷地区に西校舎、明治地区に北校舎、出羽地区に東校舎と、それぞれに分かれて創立、地区の方々のご協力のもとで開校、平成4年に現在の新校舎建設を経て現在に至っております。三地区の頭文字、大郷の「お」・明治の「め」・出羽の「で」、そして、統合して創立された七中の「統・とう」による「おめでとう」は、まさに創立記念にふさわしい「おめでたい」言葉であります。

去る5月24日（金）に七中の校長室で創立記念に関わるお話をしました。それを3つお伝えし、皆さんと共に「おめでとう」で結びにしたいと思います。

一つめは「こぶし」です。これは、七中創立に係る三地区の団結のシンボルであり、旧校舎の職員室棟三階の西側壁面に誰もが見えるように設置してあったものです。今はどこにあるのでしょうか。二つめは石碑「志向」です。その石碑を探そうと七中の駐車場に着いたところ、探す間もなく「昭和47年 同窓会・教育後援会」と刻まれた「志向」が目にとまり、ほっとして校長室に入ったのでした。そして、持参した卒業アルバムの「三年生の思い出」の中に、「山七中 学校碑落成式」の横断幕「志向」を見つけ、記憶を蘇らせました。三つめは、創立記念式の「案内状」です。「第66回創立記念式のご案内」とありました。祝辞の際に回数を誤っては失礼であると思い、創立記念日が気になって検索すると、1959年6月1日とありました。今回が数えで66回目です。実は、私の誕生日は1958年2月22日、数えの創立記念の回数と年齢が同じで、自分の年齢を忘れない限り、創立記念の回数は間違わないと思いました。と同時に、創立記念日を気にもしていなかった自分の案内状の読み方に反省したところです。

私にとって「第66回創立記念式」は「おめでとう」「こぶし」「志向」、そして、案内状を流し読みしていた自分の甘さを思い知らされた、意味のあるものとなりました。七中創立に至る三地区の団結の象徴「こぶし」の精神で、大人の仲間入りをする中で将来への「志」をもって「向」かい、思考し、また、時には試行錯誤しながら前進されますよう、皆さんの成長を大いに期待申し上げますとともに、皆さんには「第66回創立記念式」とは？と問いかけたいと思います。

私がこれから「山形市立第七中学校 第66回創立記念」と言います。その後、皆さんと一緒に「おめでとう」の言葉で結びたいと思います。「山形市立第七中学校 第66回創立記念 おめでとう！！」



【校長 式辞】

全校生が夏服に身を包み、遠方には新緑に色づいた山々、初夏を思わせる風薫る季節となりました。本日はお忙しい中、青木 琢爾 同窓会会長様をはじめ、日頃から本校をご支援くださっているたくさんの来賓の皆様のご臨席を賜り、本校第66回創立記念式を挙行できますことを大変嬉しく思います。

創立を祝うこの会場は、本日、3年生の皆さんの手で心を込めてしつらえてくれました。ありがとうございます。

さて、新年度がスタートし2か月が過ぎました。その間、たくさんのお客様が学校に来られるたびに口にされる言葉、それは「校舎が明るくてきれいですね」「木の温もりに包まれて居心地がいいですね」という誉め言葉です。それを聞きながら、心の中で、「それは、その校舎で生活する生徒が素晴らしいからなのです」と、誇りに思っています。普段、あたり前

のように毎日過ごしているこの校舎は築30年以上が経過していますが、その年月を感じさせないのは、七中生の心意気の賜物だと感じています。

そこで、創立記念式に際して、七中の歴史を皆さんと一緒にひも解いていきます。今からさかのぼること約65年前、七中は、昭和34年4月1日、山形市立大郷中学校、出羽中学校、明治中学校を統合して誕生しました。しかし、生徒全員が集える校舎はまだなく、当時の先輩方は、大郷中学校を西校舎、出羽中学校を東校舎、明治中学校を北校舎として使用し、別々に学校生活を送っていました。それから2年後の昭和36年4月1日に、念願であった新校舎が現在のこの地に完成し、3つの中学校に分散して通っていた先輩方が、ようやく同じ校舎で一緒に学校生活を送ることができるようになりました。その三地区の「協力」と「団結」のシンボルとして一階のステンドグラスのモチーフ「こぶし」のデザインが作成され、校舎の正面に誇らしげに掲げられていました。ですから、創立としては65年、この地に新校舎ができ上ってから63年になります。現在の校舎は2代目です。約32年前の平成4年10月に現在のこの校舎が完成し、11月に引っ越しました。その当時の学級数は、1・2年生は5学級、3年生は6学級あり、全体では16学級、生徒数は570名だったそうですから、現在と比べると約2倍の生徒が生活していました。



その翌年、平成5年5月、新校舎の落成記念実行委員会の方が地域から寄付を募り、七中の卒業生や地域の出身者からもたくさんの絵画や彫刻、書などの芸術作品の寄贈があったそうです。このとき寄贈された作品は21点。毎日、校内で何気なく目にしていただろうが、これほど多くの芸術作品が校舎のいたるところに展示されている学校は、七中のほかに見たことがありません。実行委員長であった丹野さんは「すぐれた芸術作品は生徒たちの豊かな情操を育み、郷土や母校を誇りにし、たくましく成長してくれるものと確信します」と作品集リストに記しています。地域の方々が皆さんに寄せる熱い思いを感じます。

また、七中と言えば、先ほど触れた「こぶし」の精神と共に大切にしているのが「志向」の精神。志を高く前向きに仲間と共に成長する、という精神は、校門付近に設置された校碑に刻まれています。七中の諸先輩方は、「こぶし」の精神・「志向」の精神を代々受け継ぎ、苦しさや辛さを共に乗り越え、感動を皆で共有し、誇りにしてきたのです。

皆さんの中には、その思いや誇り、そして、良き「校風」や「伝統」が脈々と受け継がれています。苦しいことや困難な状況にも挫けずに、「これぐらいでいいか」と現状に妥協せずに、精一杯挑むことで、はじめて自分を成長させることができます。

皆さんが生きる今という時代、GIGAスクール構想によって、全ての生徒が情報端末を持っているという世界でも最先端の情報環境です。そして、「皆同じがよし」から他者との違いに意味や価値がある社会へと転換しています。関心や特性に応じて自分の学びを重ねることが大事になっているからこそ、他者の関心や特性への敬意の念が不可欠だと思うのです。

「自分たちはちゃんと尊重されているという尊厳を土台として、学校は自分たちの手でより良いものをつくることのできる場だ」という実感を、誰もが持てることが大切です。新しい伝統や校風を創っていくのは、他ならぬ、ここにいる皆さんであり、皆さん一人ひとりの「より良い学校生活は自分たちが創る」という「心意気」にかかっています。

結びになりますが、本日の創立記念式を契機に、山形七中の伝統と校風を夢と希望をもって新たに創っていくことを期待し、また、ご臨席を賜りました皆様方の変わらぬご支援とご協力をお願いし、式辞といたします。



「七中校歌」を声高らかに



宗田生徒会長のお祝いの言葉



ご来賓の皆さま

三つの学校が統合し、「おめでとう」の言葉どおり、たくさんの方々から祝福されて生まれた山形市立第七中学校です。同窓会長さんのお話は、生徒の皆さんの心に強く印象に残ったことと思います。木の温もりが感じられ、たくさんの素敵な絵画・美術品が展示されている、明るく、清潔な校舎です。この節目の日を大切に、皆さんの同窓生の七中に寄せる思いを受け継ぎ、仲間と共に、日々前向きに過ごしていきたいものです。これからも、生徒たちの成長のために、一丸となって教育活動に邁進して参ります。保護者・地域の皆さまからのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

*** 生徒会も新たな一歩をスタートしました ***

スローガン「志（こころざし）」～仲間とともに一歩ずつ前へ～

今年度の生徒総会が5月1日（水）に行われました。全校生徒が集い、建設的な考え・意見の飛び交う、とても有意義な時間となりました。このスローガンのもと、重点活動として、「自ら社会に貢献する気持ちを育てるためのボランティア活動」「全校生の心を繋げるための全校合唱」「様々な人の考えにふれ、相手を尊重する気持ちを高める教え合い活動」「行事の際に目標や課題をクラスで共有し、団結力を高めるための振り返り活動」を掲げました。

スローガンに向かい、全校生徒が同じ方向に向かって充実した活動が展開され、どこにでも誇れる学校を自分たちの力で創っていくことを期待します。



真剣な討議の様子



議事を進める事務局



意見の発表



執行部作成「総会議案書」



プラカードで意思表示



意見をまとめる書記

***** 素晴らしい戦いぶりでした *****

～「山形市中学校総合体育大会」・「D1グランプリ」が終了～

6月15日（土）・16日（日）の2日間、標記の大会が行われました。大変暑い中での開催となりましたが、保護者の皆さまからたくさんのご声援をいただく中で生徒たちはもてる力を存分に発揮し、各会場で熱戦が繰り広げられました。この大会に先立って、6日（木）には壮行式を行い、各部とも士気を高めて臨みました。3年生は、3年間の部活動の集大成ですので、特に気持ちが入った最高のパフォーマンスを披露しました。大会が終わり、勝敗はつきましたが、これまでの努力、そして、流した汗と涙は決して無駄ではありません。今回の経験を、ぜひこれからの皆さんの生き方に活かしてほしいと思います。県大会に出場する皆さん、おめでとうございます。山形市の代表として、より大きな舞台で臆することなく、正々堂々、もてる力を十分に発揮してください。

別添で2日間の大会結果をお知らせいたします。たくさんの皆さまからご声援をいただき、ありがとうございました。



各部部長の「選手宣誓」 ・ 応援団長からの激励と全校応援

いざ、戦いの舞台へ！！ ～壮行式での各部の決意表明～



野球部



サッカー部



ソフトボール部



男子バスケットボール部



女子バドミントン部



男子バドミントン部



女子バレーボール部



男子卓球部



なぎなた部



柔道部



剣道部



水泳部



女子ソフトテニス部



陸上部



総合文化部